

## 令和3年度

## 事業報告書

特定非営利活動法人地球の友と歩む会

## 1 事業の成果

インド共和国では、貧困農家や女性を対象とした農作物の販売支援として農作物の加工研修等の実施、貧困家庭の子供を対象とした教育ローンや生活ローンの実施状況の監督やアドバイスなどを行った。インドネシア共和国では、マングローブの植林、貧困農村地域の子供を対象とした栄養改善や通学バック支援、貧困農家のモニタリング調査、水道のアクセス改善などを行った。

日本では、海外協力活動を身近に感じ、支援活動への積極的な参画を目的とした活動紹介、講演、イベント、ボランティアの募集などを行った。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【9,598】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
海外協力事業	<p><b>支援事業【インド】</b></p> <p>①貧困農家の有機農業の支援</p> <p>事業名称： 有機農業に関する基盤整備及び農村開発事業フォローアップ (事業は2019年12月1日～2020年11月30日に実施しフォローアップを2020年12月1日から開始)</p> <p>活動目的： 農業研修で安定的に農産物を生産できるようになったが、農家が安定して農産物を販売できるように支援を行う。また第三者による事業評価を行い、事業が適切であったかの確認を行い、今後のフォローアップを検討していく。</p> <p>活動計画： ・事業評価（第三者による評価活動） ・現地視察によるモニタリング ・オンラインによる進捗確認、指導アドバイス</p>	通年	インド共和国 タミルナドゥ州 ディンディグル県 サナルパティ地区 マンマラスパティ村 S・パラス村	1名	インド共和国 タミルナドゥ州 ディンディグル県 サナルパティ地区 マンマラスパティ村 S・パラス村 以上の2ヶ村の住人	150名	9,598

<p>・オンラインによるフォローアップ ・マーケティング、販売促進施策提案</p> <p>&lt;報告&gt; 計画進捗： フォローアップ活動内容：3年間の事業終了後継続的な農産物生産、加工品の販売が可能になるように研修技能訓練がおこなわれた。</p> <p>活動成果： オーガニックショップの運営が継続的に出来るようになった。またマサラ作り研修、搾油（ピーナッツ、ごま、ココナッツ）機械操作研修、技術訓練を実施。ピーナッツオイル：380kg、ごま油：72リットル、ココナッツオイル：30kg、コリアンダーパウダー：39kg、チリー50kg、レモンピクルス 5kg を生産した。マサラ作り研修142名、搾油研修142名</p> <p>* 上記マサラ作り研修活動、搾油機械操作研修・技術訓練は庭野平和財団からの緊急支援助成金事業としておこなわれたものである。&lt;助成金 98 万円&gt;</p> <p>* 3年間の事業の第三者による事後評価は新型コロナウイルス感染症の拡大により行動が制限されていたため事業評価は中止された。</p>						
<p>②女性の職業訓練支援</p> <p>事業名称： 収入向上のための研修、実習事業フォローアップ</p> <p>活動目的： 農業生産が減少し、特に女性の現金収入の手段が少なく困窮化を脱却するために新たな現金収入に結び付く技能研修を設ける。</p> <p>活動計画： 上記①の事業のフォローアップの活動で併せてモニタリングをおこない、前年度研修成果を踏まえて加工品生産と販売をおこなう。</p> <p>&lt;報告&gt; 計画進捗：計画通り実施。</p>	<p>通年</p>	<p>インド共和国 タミルナドゥ州 ディンディグル県 サナルパティ地区 マンマラスパティ村 S・バラス村</p>	<p>1名</p>	<p>インド共和国 タミルナドゥ州 ディンディグル県 サナルパティ地区 マンマラスパティ村 S・バラス村</p>	<p>30名</p>	

	<p>活動成果： マサラ作りは SHG メンバー 28 名参加し、スパイス加工はコリアンダーパウダー 39kg、チリーパウダー 39kg を生産した。 農産物搾油研修は SHG メンバー 3 名が参加しピーナッツオイル 380kg ごま油 72 リットル、ココナッツオイル 30kg を生産した。</p> <p>①の事業と地域が近いいため研修等は同時期に実施した。</p>				<p>以上の 2 カ村にあ る女性 グループ SHG に所 属するも の</p>		
	<p>③ SHG による教育ローン 運営支援</p> <p>事業名称： 教育ローン・所得向上ローン 支援事業 (2012 年開始)</p> <p>活動目的： 高等教育ローン制度導入による経済的支援。中学校までの進学率は 90% 以上だが高等教育への進学は経済的な理由で諦めている農村家庭の進学率を高める。教育ローンを SHG で自己運営できるまでサポートを行う。</p> <p>活動計画： 3 地区の SHG による教育ローン運営が継続的におこなわれるためにマネージメント面でのアドバイスをおこなっていく。 運営は SHG が行い、経費はローン返済金と銀行預け利子で賄われる。</p> <p>&lt;報告&gt; 計画進捗： 2 つの SHG (スリ・ムタランマン、アンナイ・ムタランマン SHG) は適正な運営管理がなされているが資金財源を教育ローンの利子で賄うまでには至っていない。</p> <p>新型コロナウイルス感染症流行により出稼ぎ等の収入源が絶たれ、ウタヤム連合では返済を滞納するメンバーが出てきた。これを受けて、パピナヤッケン村の SHG が自発的に連合を脱退し新し</p>	<p>通年</p>	<p>インド共 和国 タミルナ ドゥ州 ディンデ ィグル県 ニラコタ イ地区</p>	<p>2 名</p>	<p>インド共 和国 タミルナ ドゥ州 ディンデ ィグル県 ニラコタ イ地区</p> <p>3 つの SHG ウタヤム 連合、</p> <p>スリ・ム タランマ ン SHG、</p> <p>アンナ イ・ムタ ランマン SHG</p> <p>パピナヤ ッケンパ ッティ連 合</p> <p>以上 4 つ</p>	<p>53 名</p>	

	<p>い SHG 連合を組織。新しい SHG 連合は銀行口座を開設しウタヤム女性連合とは別に教育ローン管理を開始したが、資金財源を教育ローンの利子で賄うまでには至っていない。</p> <p>管理運営面において現地 NGO からの報告書の内容面で不備が散見されるので継続的な運営のための検討をおこなった。</p> <p>活動報告：  ①ウタヤム連合：  ローン残高：391,500 ルピー  ローン利用者数 16 名  返済人数（直近 3 カ月）：75%  グループ口座残高：109,656 ルピー  グループ預金：実施なし</p> <p>②パピナヤッケンパッティ連合  ローン残高：224,000 ルピー  ローン利用者：13 名  グループ口座残高：65,130 ルピー  返済人数率：53%  グループ預金：実施なし</p> <p>③スリ・ムタランマン SHG  ローン残高：517,000 ルピー  ローン利用者数：12 名  返済人数率：100%  グループ口座残高：97,552 ルピー  グループ預金合計額：115,100 ルピー</p> <p>④アンナイ・ムタランマン SHG  ローン残高：105,451 ルピー  ローン利用者数：12 名  返済人数率：100%  グループ口座残高 126,435 ルピー  グループ預金口座残高：36,000 ルピー</p>				<p>の SHG に  所属する  女性</p>		
	<p><b>支援事業【インドネシア】</b></p> <p>①スンバ島での植林推進  (2015 年に開始)  事業名称：緑化推進のための  マングローブ植林事業</p> <p>活動目的：荒廃した自然環境  の回復のため</p> <p>活動計画：  マングローブの種 1,000 個  を既存のマングローブから  摘み取り、種から育苗。植林。  植林イベントの開催、植林後  の見回り、海岸のごみ拾い。  ラジオ放送や SNS による環  境保全啓発活動。</p> <p>&lt;報告&gt;  計画進捗：</p>	<p>通年</p>	<p>インドネシ  ア共和国</p> <p>スンバ島  東スンバ県</p> <p>ワラキリ  海岸</p>	<p>1 名</p>	<p>インドネシ  ア共和国</p> <p>スンバ島  東スンバ県</p> <p>ワラキリ  海岸の周  辺住民</p>	<p>300 名</p>	

<p>既存のマングローブから種を摘み取り、種から育苗し植林した。新型コロナの影響で当会職員の現地視察ができなかった。また、2022年3月に予定していた日本からの植林ボランティアを派遣することができなかった。</p> <p>植林地のパダディタ海岸にインドネシア政府が植林することになり、ワラキリ海岸（10 kmほど南東方）に移動した。育成していた苗木100本が盗難に遭った。これまで何年も植林をしてきて初めて。再発しないよう対策が必要。</p> <p>活動成果： 約1,000個の種を摘み取り全て苗木に成長した。そのうち100本は盗難に遭い、残り900本はすでに植林済み。苗木購入費用を削減できた。</p>						
<p>②スンバ島栄養改善支援</p> <p>事業名称： スンバ島農村部に暮らす村人と子どもたちのための栄養不足改善事業</p> <p>活動目的： 東スンバ島農村部の貧困家庭の栄養不足を改善する。ライパンダック村をモデルの事業地とし、様々な栄養素を摂取できるよう野菜作り指導の他、大豆作り、果樹の植林、いけすでの魚の養殖を行う。また、大豆や魚は加工作りも指導する。村で生産されたものは販売して、村人の収入源とし、事業継続の資金にもする。</p> <p>活動計画： 村で唯一の公共施設であるライパンダック小学校を拠点に事業を行う。学校の先生方が全面的に協力をしてくださることになっている。また、LIFEの支援者である栄養を専門とする小児科医と管理栄養士がプロジェクトに参加する。事業で行うことは、有機野菜および大豆作り、果樹の植林、有機肥料の作成、いけすの建設、魚の餌の作成、バイオガスを使った調理場の建設、加工食品作り、小学生および未就学児の身体測定など。小学生とそ</p>	<p>通年</p>	<p>インドネシア共和国 スンバ島 東スンバ島 ライパンダック村</p>	<p>1名</p>	<p>インドネシア共和国 スンバ島 東スンバ島 ライパンダック村に住む子供とその家庭</p>	<p>1000人</p>	

<p>保護者、近隣住民が事業に参加する。</p> <p>&lt;報告&gt;          計画進捗：          畑、台所、バイオガス発生装置を作った。有機農業研修を行い村人たちが参加した。子どもたちの身体測定をし、日本人小児科医が子どもたちの体格を把握した。収穫した野菜を使って食事を作り、小学校で児童に提供した。絵画コンクールを開催し子どもたちが学んだことを絵で表現した。保護者向けに栄養指導を行った。ラジオ MAX と Zoom でつなぎ、管理栄養士が調理指導をした。          台風で実習農場の畑が流され、別の場所に畑を作り直した。川から遠くなったので水道管を延長しなくてはならなかった。送金後材料費が値上がりし、再度送金した。新型コロナウイルスの影響で学校が2021年9月まで休校し、再開後も分散登校のため対象児童を全校児童約100名から近隣の子ども(未就学児を含む)26名に変更した。新型コロナウイルスの影響で日本から小児科医の派遣ができなかった。</p> <p>活動成果：          村人たちが農業研修に参加し野菜の作り方を学んだ。栽培した野菜：小松菜、チンゲン菜、白菜、空心菜、トマト、インゲン、唐辛子、赤玉ねぎ。当事業で建設した台所とバイオガス発生装置で村人たちが作った野菜を使った献立を調理し子どもたちが食べた。</p>						
<p>③スンバ島農村部の子ども支援-1 (2017年に開始)</p> <p>事業名称：東スンバ島農村部の子どもの教育環境改善事業 (5年目)</p> <p>活動目的：          東スンバ島農村部の低所得家庭で通学用バッグを購入できない子どもたちにバッグを配付し、学力向上・通学意欲の継続を目指す。さらにバッグ製作者である中部ジャワの貧困世帯の主婦たちの現金収入増加を目指す。</p> <p>活動計画：</p>	<p>通年</p>	<p>インドネシア共和国</p> <p>スンバ島</p> <p>東スンバ島</p> <p>ジャワ島</p> <p>中部ジャワ県</p>	<p>1名</p>	<p>インドネシア共和国</p> <p>スンバ島</p> <p>東スンバ島の農村に立地する小学校に通う貧困家庭の児童</p>	<p>小学生2,000名</p> <p>賃金を得たジャワ島の縫製従事者約15人</p> <p>※事業累計での通学バッグを使用できる児童数1万人</p>	

<p>スンバ島にて新しいデザインのバッグを考案する。中部ジャワにて 2,000 個のバッグと昨年度作り終わらなかったバッグ 965 個を製作する。</p> <p>&lt;報告&gt; 計画進捗： 中部ジャワにて 5 年目の予定製作数 2,000 個および 4 年目に新型コロナの影響で作れなかった 965 個を製作し、スンバ島へ発送した。</p> <p>2021 年 9 月までスンバ島の小学校が休校し再開後も分散登校で通常通りに戻っていないため、バッグは東スンバ島教育局で保管している。</p> <p>活動成果： 従来の製作者に加えて新型コロナの影響で職を失った男性たちが材料の搬入や出来上がったバッグの梱包など力仕事を担った。参加者が賞金を受け取った。5 年間で出来上がったバッグは 1 万個。スンバ島では学校が休校しバッグを渡せていないが、この 5 年間で 1 万人の子どもたちがバッグを受け取る。</p>		の 2ヶ所			<p>ジャワ島 中部ジャワ島の貧困家庭を中心とした女性グループとその家族</p> <p>および新型コロナで失職した男性とその家族</p>		
<p>④スンバ島農村部の子ども支援-2</p> <p>事業名称： 東スンバ島農村部の子どもたちの絵本寄付事業（2016 年開始）</p> <p>活動目的： スンバ島の子どもたちは小学校に入学するまで文字に接する機会がほとんどない。小学校に入学して勉強として学ぶ文字は難しく、授業に興味を持ってない。日本のカラフルな絵本で文字に親しむことにより学校での授業をスムーズに受け入れることができ、学力が向上する。</p> <p>活動計画： 切り貼りボランティアが増えているので LIFE で絵本を用意するのではなく参加者各自で絵本を用意してボランティアに参加していただくやり方に切り替える。一度ご縁のあったボランティアの方々に継続して LIFE の活</p>	<p>④スンバ島農村部の子ども支援-2</p> <p>事業名称： 東スンバ島農村部の子どもたちの絵本寄付事業（2016 年開始）</p> <p>活動目的： スンバ島の子どもたちは小学校に入学するまで文字に接する機会がほとんどない。小学校に入学して勉強として学ぶ文字は難しく、授業に興味を持ってない。日本のカラフルな絵本で文字に親しむことにより学校での授業をスムーズに受け入れることができ、学力が向上する。</p> <p>活動計画： 切り貼りボランティアが増えているので LIFE で絵本を用意するのではなく参加者各自で絵本を用意してボランティアに参加していただくやり方に切り替える。一度ご縁のあったボランティアの方々に継続して LIFE の活</p>	<p>通年</p>	<p>インドネシア共和国 スンバ島 東スンバ島</p>	<p>1 名</p>	<p>絵本製作 ボランティア参加： 日本国</p> <p>絵本受取： インドネシア共和国 スンバ島 ワインガップ市周 辺児童および農村 地域に所在する小 学校児童</p>	<p>絵本製作 ボランティア参加： 約 200 組</p> <p>絵本受取： 約 1 万人</p>	

	<p>動に参加していただくよう促す。学校など集まって切り貼りボランティアを実施する際の感染防止策。</p> <p>&lt;報告&gt;          計画進捗：在宅でできるボランティアということで約200名の方が切り貼りボランティアに参加した。約850冊の絵本をスンバ島へ発送した。スンバ島において絵本受け取り時に現地郵便局に支払う手数料が高い。10回の発送で合計2万円ほど。その他、日本からの発送費もあり継続方法を検討したい。</p> <p>活動成果：          日本全国の個人、団体、企業等から絵本製作ボランティアに参加。</p>						
	<p>⑤農業復興事業</p> <p>事業名称：          東スンバ島43か村における農村開発支援事業調査</p> <p>支援実施に向けたモニタリング調査を行った。支援予定だったブライラギナ村は他のNGOが支援することが決定したため、活動地域から除外することになった。</p> <p>その他、以下の項目を調査し支援が行えるようモニタリングを実施した。</p> <p>①給水施設整備関連調査          ②農業復興基盤整備関連調査          ③農業グループ組織化関連調査          ④環境保全・土壌改良関連調査</p>	<p>通年</p>	<p>インドネシア共和国          スンバ島          東スンバ島          ハハル郡          ムバタブ          フ村、          レワ郡カ          ンバタウ          ンドウツ          村および          マタワイ          パワリ村          の3か村</p>	<p>2名</p>	<p>インドネシア共和国          スンバ島          東スンバ島          ハハル郡          ムバタブ          フ村、          レワ郡カ          ンバタウ          ンドウツ          村および          マタワイ          パワリ村          の3か村          の貧困農          家</p>	<p>151名</p>	



<p>⑥バリ島給水事業</p> <p>事業名称： 水道組合設立及び住民主体の持続的な水道事業運営に向けた基盤構築事業（新規事業、3年間事業の2年目）</p> <p>活動目的： 生活用水が使用できていない1,152世帯3,629人を対象にして老朽化して水供給が困難な状況を改善していき健康で安全な生活が出来るようにする。治水機能向上のための住民主体の植林活動。</p> <p>活動計画：管理面 ・ブダワ村での顧客リストの作成 ・住民のプロジェクトへの理解醸成</p> <p>技術面 ・貯水池、配水池の改善 ・水道管の修繕 ・水源地周辺への1000本の植林</p> <p>&lt;報告&gt; 計画進捗： 管理面では水を利用する顧客リストを作成した。住民がプロジェクトを理解し工事などに参画した。技術面では貯水池や配水池の改善や維持管理の技能を習得した。水道管修繕の現地調査や管路シミュレーションを行った。</p> <p>管路における体系的な工事の経験が村に蓄積されていないことから、管路の敷設場所、敷設管路の種類等の選定が村の人には難しかった。解決方法としてウダヤナ大学とMoUを締結し、現地での調査に協力してもらった。その結果、管路の敷設場所と敷設管路の種類を選定を現地調査の結果から実施することができた。</p> <p>活動成果： ・顧客リストの完成 ・村人の工事への参画 ・工事計画の立案</p>	<p>通年</p>	<p>インドネシア共和国 バリ島 ブレンゲ県 ブダワ村の6集落</p>	<p>4名</p>	<p>インドネシア共和国 バリ島 ブレンゲ県 ブダワ村の6集落のうち水の確保が難しい貧困家庭</p>	<p>1,152世帯 3,629人</p>
<p>&lt;日本での啓発活動&gt;</p> <p>①講師派遣3回 大学生に講義を実施。学生向けに国際協力についての講義を職員が行った。</p>	<p>①6/21 7/13</p>	<p>①香川県の大学と東京</p>	<p>3名</p>	<p>①大学の講義選択者</p>	<p>①受講者 約100名</p>

	<p>②有料オンラインイベント 7回実施</p> <p>国際協力を身近に感じ、また広報するため現地の食文化や映画から学ぶイベントや学びを深める学習会などを実施。</p>	<p>9/8 計3回</p> <p>②～⑤</p> <p>日本国お よびイン ターネッ トにアク セスでき るもの</p>	<p>都の大学</p> <p>②</p> <p>11/13 12/11 1/22 2/19 3/5 3/12 3/19</p> <p>③</p> <p>5/16 公開 7/24 公開 8/7 公開 9/27 公開 10/8 公開 10/13 公開 10/13 公開 3/9 公開</p> <p>④</p> <p>5/22 6/12 6/26 8/13 8/20 8/27</p>		<p>および国際 協力に興味 がある学生</p> <p>②～⑥</p> <p>国際協力や インド、イ ンドネシア に興味のあ る市民</p>	<p>② 5名 2名 12名 6名 4名 2名 3名 計34名 参加</p> <p>③</p> <p>79回 55回 36回 18回 61回 13回 13回 14回 計289回 再生</p> <p>※2022/6/6 時点での再 生数</p> <p>④</p> <p>20名 6名 1名 3名 30名 1名</p>	
--	--	---	---	--	--	---	--

	<p>⑤オンライン出展2回  ・メーデー中央大会  ・グローバルフェスタ JAPAN2021  外部の団体が主催するオンラインイベントに情報を掲載した。</p> <p>⑥広報展示リレー企画  (アート×SDGs)  展示場所は駿河台(4月)、日比谷(5月～)の2か所で実施。千代田区の複数施設が協力し、アート作品および、アートに込められた環境への思いを展示。LIFEは環境問題に取り組む団体として情報提供および活動紹介を実施。</p>	<p>東京都千代田区駿河台および日比谷</p>	<p>10/9</p> <p>⑤  4/29  10/9～  10/10</p> <p>4月  5月～  8月末</p>			<p>6名  計67名</p> <p>⑤約100名</p> <p>⑥約100名</p>	
	<p>&lt;日本での活動&gt;  国際理解を広げるためのボランティア・活動参加呼びかけ</p> <p>①リサイクル寄付  ハガキや切手、本等のモノの寄贈呼びかけ</p> <p>②資金化ボランティア  切手の仕分けや集めた切手等を資金化しやすいように整理する活動</p> <p>③事務局ボランティア  動画編集、SNS投稿内容の考察、ハガキや切手のカウント等の事務局の補助。</p> <p>④スンバ島ポンプ開発ボランティア  設計や土木に知識のあるボ</p>	<p>通年</p>	<p>東京都千代田区を含めた日本全国</p> <p>上記に加え  ④～⑥は  インドネシア共和国  スンバ島  東スンバ島も含む</p>	<p>3名</p>	<p>国際協力に興味がある  一般市民および団体等</p> <p>上記に加え  ④～⑥は  インドネシア共和国  スンバ島  東スンバ島の水および  本へのアクセスが乏し</p>	<p>①約100組  ②6組  ③2名  ④2名  ⑤2組</p>	

	<p>ランティア2名がポンプ開発に必要なデータを計算し設計図を提案した。</p> <p>⑤ガーゼマスクと布マスクをスンバ島へ寄贈 寄贈の申し出が日本からあり、現地に確認したところ必要との連絡が入りスンバ島へガーゼマスク 200 枚、布マスク 141 枚を発送。現地ではマスクが手に入りにくいため農村を中心に配布した。</p> <p>⑥絵本の翻訳貼りボランティア ※詳細は&lt;インドネシア④を参照&gt;</p>				い農村	<p>上記に加え④～⑥はインドネシア共和国 スンバ島東スンバ県農村地域</p> <p>④約 1000 人</p> <p>⑤341 名</p> <p>※個人団体含む</p> <p>※絵本の翻訳貼りボランティア ※詳細は&lt;インドネシア④を参照&gt;</p>	
--	---	--	--	--	-----	--	--

(2) その他の事業

(事業費の総費用【           】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	なし				

令和3年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人 地球の友と歩む会

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
<b>【A】</b>	<b>経常収益</b>		
1	受取会費		812,000
	正会員受取会費	434,000	
	賛助会員受取会費	378,000	
2	受取寄附金		10,735,610
	受取寄附金	6,161,771	
	受取民間助成金	4,573,839	
3	受取助成金等		0
	受取補助金		
4	事業収益		115,360
	国際協力事業収益	115,360	
5	その他の収益		36
	受取利息	36	
経常収益計			11,663,006
<b>【B】</b>	<b>経常費用</b>		
1	事業費		
	(1) 人件費		2,934,749
	給料手当	2,550,400	
	通勤交通費	35,864	
	福利厚生費	14,000	
	法定福利費	334,485	
	(2) その他経費		6,664,094
	海外プロジェクト費	4,403,720	
	払込手数料	512,853	
	広報宣伝費	134,327	
	通信運搬費	298,963	
	光熱費	68,605	
	家賃費用	554,086	
	消耗品費	203,207	
	会議費	17,046	
	旅費交通費	188,060	
	諸会費	35,000	
	保険料	4,360	
	書籍資料代	4,400	
	交際費	6,085	
	支払報酬	131,072	
	助成金返還金	102,310	
事業費計			9,598,843
2	管理費		
	(1) 人件費		917,540
	給料手当	851,200	
	通勤交通費	21,976	
	福利厚生費	6,000	
	法定福利費	38,364	
	(2) その他経費		508,752
	払込手数料	85,174	
	広報宣伝費	40,883	
	通信運搬費	63,375	
	光熱費	20,880	
	家賃費用	168,636	
	消耗品費	52,189	
	会議費	5,189	
	旅費交通費	926	
	支払報酬	71,500	
管理費計			1,426,292
経常費用計			11,025,135
当期経常増減額【A】-【B】・・・①			637,871
<b>【C】</b>	<b>経常外収益</b>		
経常外収益計			0
<b>【D】</b>	<b>経常外費用</b>		
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】-【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③			637,871
	法人税、住民税及び事業税・・・④		0
	前期繰越正味財産額・・・⑤		6,687,579
次期繰越正味財産額③-④+⑤			7,325,450

## 令和3年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 地球の友と歩む会

(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
<b>【A】</b>	<b>資産の部</b>		
1	流動資産		
	現金預金	6,890,372	
	未収金	953,592	
	貯蔵品	200,000	
	流動資産合計・・・①		8,043,964
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		0
	(2)無形固定資産		0
	(3)投資その他の資産		780,790
	敷金	780,790	
	固定資産合計・・・②		780,790
<b>【A】</b>	<b>資産合計 ①+②</b>		8,824,754
<b>【B-1】</b>	<b>負債の部</b>		
1	流動負債		
	未払金	558,247	
	前受金	873,000	
	預り金	68,057	
	流動負債合計・・・③		1,499,304
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
	負債合計 ③+④		1,499,304
<b>【B-2】</b>	<b>正味財産の部</b>		
	前期繰越正味財産額		6,687,579
	当期正味財産増減額		637,871
	正味財産合計		7,325,450
<b>【B】</b>	<b>負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】</b>		8,824,754

## 令和3年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人地球の友と歩む会

1. 重要な会計方針  
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

2. 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

3. 事業別損益の状況  
事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	海外協力 事業	海外交流 事業	国際理解 促進事業	自然環境 保全事業	市民活動 推進事業	啓発・交流 促進事業	事業 部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>									
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	812,000	812,000
2. 受取寄付金	6,161,771	0	0	0	0	0	6,161,771	0	6,161,771
3. 受取助成金等	4,573,839	0	0	0	0	0	4,573,839	0	4,573,839
4. 事業収益	115,360	0	0	0	0	0	115,360	0	115,360
5. その他収益	36	0	0	0	0	0	36	0	36
<b>経常収益計</b>	<b>10,851,006</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>10,851,006</b>	<b>812,000</b>	<b>11,663,006</b>
<b>II 経常費用</b>									
(1) 人件費									
給料手当	2,550,400	0	0	0	0	0	2,550,400	851,200	3,401,600
通勤交通費	35,864	0	0	0	0	0	35,864	21,976	57,840
福利厚生費	14,000	0	0	0	0	0	14,000	6,000	20,000
法定福利費	334,485	0	0	0	0	0	334,485	38,364	372,849
<b>人件費計</b>	<b>2,934,749</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2,934,749</b>	<b>917,540</b>	<b>3,852,289</b>
(2) その他経費									
海外プロジェクト費	4,403,720	0	0	0	0	0	4,403,720	0	4,403,720
払込手数料	512,853	0	0	0	0	0	512,853	85,174	598,027
広報宣伝費	134,327	0	0	0	0	0	134,327	40,883	175,210
通信運搬費	298,963	0	0	0	0	0	298,963	63,375	362,338
光熱費	68,605	0	0	0	0	0	68,605	20,880	89,485
家賃費用	554,086	0	0	0	0	0	554,086	168,636	722,722
消耗品費	203,207	0	0	0	0	0	203,207	52,189	255,396
会議費	17,046	0	0	0	0	0	17,046	5,189	22,235
旅費交通費	188,060	0	0	0	0	0	188,060	926	188,986
諸会費	35,000	0	0	0	0	0	35,000	0	35,000
保険料	4,360	0	0	0	0	0	4,360	0	4,360
書籍資料代	4,400	0	0	0	0	0	4,400	0	4,400
交際費	6,085	0	0	0	0	0	6,085	0	6,085
支払報酬	131,072	0	0	0	0	0	131,072	71,500	202,572
助成金返還金	102,310	0	0	0	0	0	102,310	0	102,310
<b>その他経費計</b>	<b>6,664,094</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>6,664,094</b>	<b>508,752</b>	<b>7,172,846</b>
<b>経常費用計</b>	<b>9,598,843</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>9,598,843</b>	<b>1,426,292</b>	<b>11,025,135</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>1,252,163</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,252,163</b>	<b>▲ 614,292</b>	<b>637,871</b>

4. 使途等が制約された寄付金等  
使途等が制約された寄付金等の増減は以下の通りです。  
当法人の正味財産は 7,325,450 円ですが下記の通り使途が指定されています。  
使途が制約されていない正味財産は 7,264,209 円、使途が制約されている正味財産は 61,241 円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
味の素ファンデーション:食と栄養支援事業	1,057,000	0	1,057,000	0	
インド教育ローン指定寄付	232,738	120,000	352,738	0	
バリ島給水事業指定寄付	20,000	20,000	40,000	0	
オンラインスタディーツアー整備指定寄付	0	100,000	38,759	61,241	
<b>合計</b>	<b>1,309,738</b>	<b>3,921,500</b>	<b>5,169,997</b>	<b>61,241</b>	

5. 役員及びその近親者との取引の内容  
役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上 された金額	内、役員との取 引	内、近親者及び 支配法人との取 引
(活動計算書) 受取寄付金	368,000	130,000	238,000
活動計算書計	368,000	130,000	238,000

6. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- 事業費と管理費の按分方法  
各事業の経費および事業費と管理費に共通する経費は、従事割合に基づき按分しています。

## 令和3年度 財産目録

特定非営利活動法人地球の友と歩む会

(単位：円)

科	目	金額	小計	合計
<b>【A】</b>	<b>資産の部</b>			
1	流動資産			8,043,964
	現金預金		6,890,372	
	手元現金	0		
	ゆうちょ銀行振替預金	5,493,921		
	ゆうちょ銀行普通預金	673,368		
	みずほ銀行普通預金	631,695		
	三菱UFJ銀行普通預金	90,946		
	楽天銀行普通預金	0		
	PayPal口座	442		
	未収金		200,000	
	民間助成金	200,000		
	棚卸資産		953,592	
	貯蔵品(切手・ハガキ・金券類)	953,592		
	流動資産合計・・・①			8,043,964
2	固定資産			0
	(1)有形固定資産			0
	(2)無形固定資産			0
	(3)投資その他の資産			780,790
	敷金		780,790	
	事務所敷金	780,790		
	固定資産合計・・・②			780,790
	<b>【A】資産合計 ①+②</b>			<b>8,824,754</b>
<b>【B-1】</b>	<b>負債の部</b>			
1	流動負債			1,499,304
	未払金		558,247	
	助成金返還金	258,247		
	海外プロジェクト費	300,000		
	前受金		873,000	
	前受助成金	873,000		
	預り金		68,057	
	源泉徴収税・住民税・社会保険	68,057		
	流動負債合計・・・③			1,499,304
2	固定負債			0
	固定負債合計・・・④			0
	<b>【B-1】負債合計 ③+④</b>			<b>1,499,304</b>
	<b>【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】</b>			<b>7,325,450</b>



## 令和3年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

## 特定非営利活動法人地球の友と歩む会

## 1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

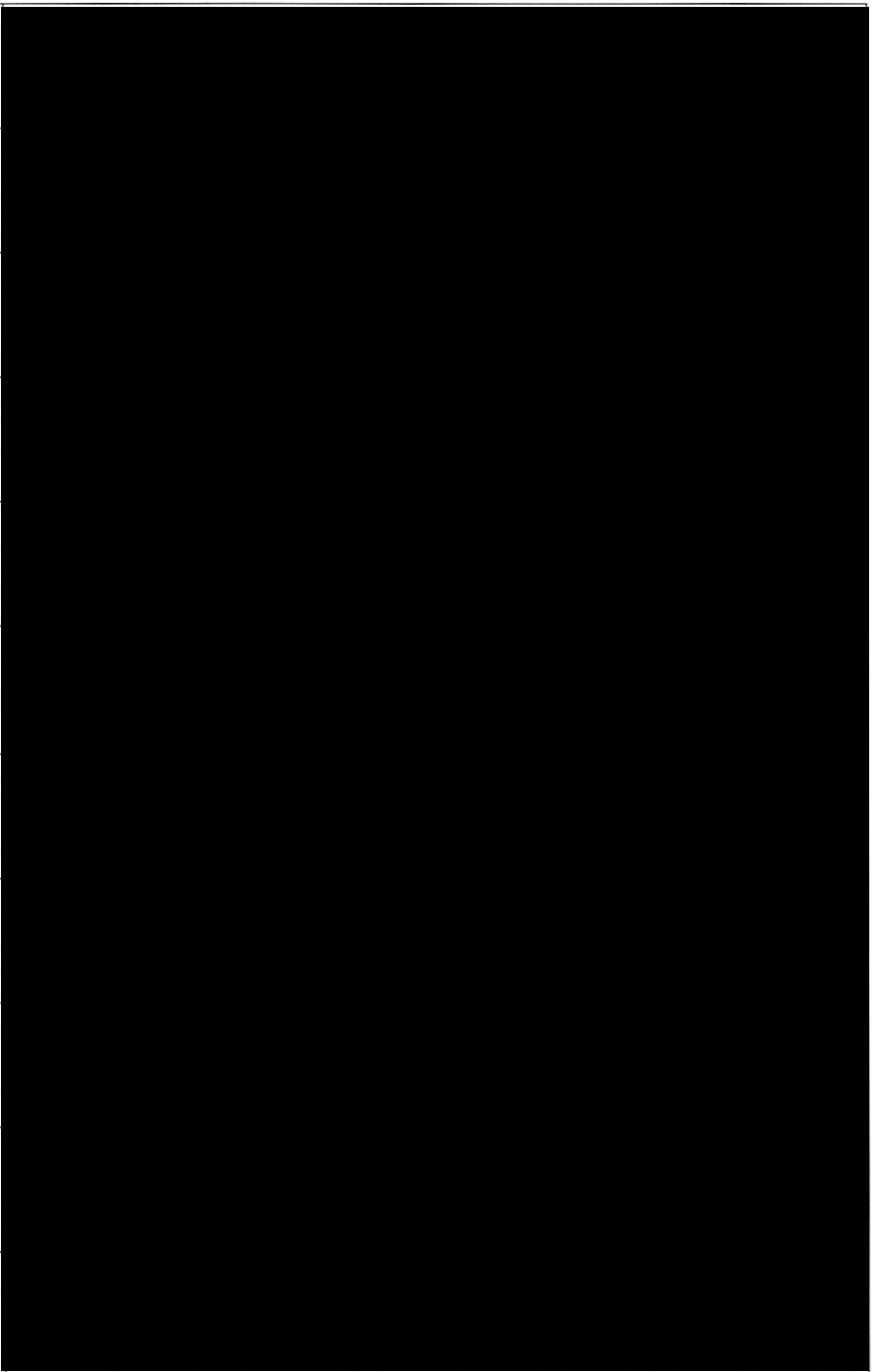
- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）  
各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

## 2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	<input checked="" type="checkbox"/> 理事 <input type="checkbox"/> 監事	コウトウミノル	向當 稔	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
2	<input checked="" type="checkbox"/> 理事 <input type="checkbox"/> 監事	オクムラキョウコ	奥村 香子 (鷺見 香子)	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
3	<input checked="" type="checkbox"/> 理事 <input type="checkbox"/> 監事	クロイワリュウタ	黒岩 竜太	令和3年5月22日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
4	<input checked="" type="checkbox"/> 理事 <input type="checkbox"/> 監事	ヨネヤマトシヒロ	米山 敏裕	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
5	<input checked="" type="checkbox"/> 理事 <input type="checkbox"/> 監事	シミヤマヒサミツ	下山 久光	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
6	<input checked="" type="checkbox"/> 理事 <input type="checkbox"/> 監事	イワタマサコ	岩田 雅子	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
7	<input checked="" type="checkbox"/> 理事 <input type="checkbox"/> 監事	ウエムラマコト	上村 真	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
8	<input checked="" type="checkbox"/> 理事 <input type="checkbox"/> 監事	ヨコヤマケイゾウ	横山 計三	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
9	理事 <input checked="" type="checkbox"/> 監事	ハマバシリヒロユキ	濱走 弘之	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日

### 社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人地球の友と歩む会

	氏名	
1	横山 計三	
2	赤井 充也	
3	米山 敏裕	
4	下山 久光	
5	岩田 雅子	
6	紺野 静香	
7	鈴木 規仁	
8	黒岩 竜太	
9	浜走 弘之	
10	吉田 達也	